



SDGsにもつながっている 人にも自然にも優しい智頭のまちづくり

「一人ひとりの人生に寄り添えるまち」を実現するための4つの理念があります

①森の恵みを活かしたまちづくり

- ・地域資源である豊かな森林資源の活用。
- ・自伐林家の育成、農林産物の活用やブランド化、森林を活かした産業づくり。
- ・自然環境を活かした観光振興や都市部との交流。

⇒森林と触れる機会を増やすことによる、町民自身が森の恵みを享受できるまちづくり

②安心・安全に暮らせる健康長寿のまちづくり

- ・町民の健康寿命を延ばす健康づくり支援、地域と連携した災害に強いまちづくり、住環境・情報通信網の利便性向上。
- ・高齢者やハンディキャップを持つ人も、能力と適性に応じて社会参画できる機会づくり。

⇒安心して子育てができ、健康に高齢期を迎えることができるまちづくり

③子どもから大人まで学びと成長のまちづくり

- ・保育園・学校・家庭・地域社会が一体となった教育環境の充実。
- ・幅広い世代の多様なニーズに応える学び・仲間・多世代交流の場づくり。

⇒子どもから大人まで、誰もが学び成長できるまちづくり

④地域や家族のつながりでつくるまちづくり

- ・「日本 1/0 村おこし運動」や「百人委員会」をはじめ、各集落で行われる活発な地域活動など町民と行政の協働。
- ・町全体の活力向上のための大学や民間事業者との連携、町民相互の交流。

⇒町民一人ひとりの個性や多様な活動が活かされるまちづくり

こうしたまちづくりは、中山間地域において住民自治を中心にした地域社会維持の先進的なモデルです。本町は、SDGs 未来都市として今後も持続可能で豊かな社会づくりを目指していきます。



身近な生活がSDGsにつながっています

- ・地元の商店から地元産のものをかうこと (8)
- ・いじめや差別をしない、させないこと (10)
- ・海・川・山に行ったら、ごみは持ち帰ること (14・15)

※ () の中の数字は当てはまる国際目標の番号

問合せ先 役場企画課 ☎ 75-4112